

平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	北陸地方建設事業推進協議会平成30年度「建設技術報告会」	事業経緯	継 続	実施体制	実行委員会	担当所属	技術調査室
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業		事業区分	技術開発、研究開発	

1. 事業目的

本事業は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間企業において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及・促進に寄与するものである。

2. 事業実施体制

主 催：北陸地方建設事業推進協議会 平成30年度「建設技術報告会」実行委員会

<構成23機関>

北陸地方整備局/新潟県/富山県/石川県/新潟市/東日本高速道路(株)新潟支社/中日本高速道路(株)金沢支社/(一社)日本建設業連合会北陸支部/(一社)日本道路建設業協会北陸支部/(一社)新潟県建設業協会/(一社)富山県建設業協会/(一社)石川県建設業協会/(一社)建設コンサルタント協会北陸支部/(一社)日本建設機械施工協会北陸支部/北陸土木コンクリート製品技術協会/(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部/北陸PC防雪技術協会/(一社)新潟県融雪技術協会/(一財)新潟県建設技術センター/北陸地質調査業協会/(一社)日本理立浚渫協会北陸支部/(一社)北陸地域づくり協会/(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

3. 事業実施概要

日 時：平成30年10月25日(木) 9:30～16:30

場 所：石川県地場産業振興センター(金沢市)

プログラム：

・開会式

開会挨拶：国土交通省北陸地方整備局 企画部長(代理)

・基調講演「ICT活用による建設生産性の向上」

講師：清水 晃(国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター長)

・技術報告(分科会)

2会場で16技術の発表

・閉会式

総評・挨拶：国土交通省北陸技術事務所長

その他：

・技術パネル等展示コーナー(開発技術等のパネル展示：24社)

聴講費：無料

参加者：行政職員117名、民間企業275名、報道2名 計394名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本報告会は、研究開発技術の普及を図ることを目的に平成7年度より毎年開催しており、今回で23回目となる。 厳しい社会経済情勢から、品質の確保及びこれまで以上に効率的かつ効果的に進めることが必要不可欠であり、そのためには新技術・新工法の活用・普及が重要課題である。このような時代背景を象徴して、聴講者は400名ほどとなった。

新技術・新工法における情報交換の貴重な機会として、大変有意義であり、「今後も続けて欲しい」との意見(アンケート：87%)や「地方の技術者にとって最新の技術情報を身近に入手でき、有意義である」など、新技術に対する意識の向上が図られていた。また、基調講演では「建設分野の労働力不足を踏まえ、生産性の向上に資するi-Constructionの取り組みを進めていくとし、BIM/CIMの実現に向けた3次元データの利活用についての試行事例や国土交通省におけるCIM活用の推進、維持管理段階でのCIMモデル活用方法」などが示された。



開会挨拶



基調講演



技術報告発表

